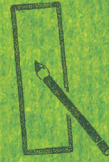


文芸きくち



万句の里俳句会 7月句会

四方より万緑迫まる湖ひとつ
覆ひたる葉陰に潜む雨蛙
白百合の香に母の笑み偲ぶる
なごやかに思ひ出語る新盆会
街路樹をふるはせ蟬の大合唱

岩木 敬治
宮本 敏子
加藤 妙子
川口 二子
宮本 雅子

七城短歌会 7月詠草

梅雨晴れ間今が適期と豆を播く母の尊き教えがありて
音残し早苗田飛び立つ子白鷺揃えし黄色の足がいとほし
食前の暇に夕庭草をぬく煙幕張るがにカブカの群れ舞う
田の補植しをる目の前スッポンが土塊背負ひのつそり歩む
待ちし雨降しを喜ぶ束の間に庭畑の草色濃くなれり

緒方 正俊
高木 精
佐々 重弘
嶋田 晴美
緒方 寛子

せせらぎ俳句会 7月例会

ひと日暮れ涼しき風は植田より
骨もなき法事と聞けり原爆忌
箱根路や峠の茶屋のかき氷
空蟬に羽化の苦しみ残りけり
梅雨しきり言葉失くした友見舞う

青木ユリ子
藤本 邦治
寺本 和子
五丁 義昭
藤本アツ子

「里」短歌会 7月詠草

戦没の遺族の悲しみ数知れずみたままつりの献灯ゆるる
森林の遙かなるみち一台も車通らぬ上津江の郷
保育園見えてくるなり泣く娘広い世界にまたひとつ飛ぶ
ポケットの中より響く携帯に「ハッピーバースディユー」と親友の声
休耕田にうち棄てられし花白く田の面を被う献花のように

桑野 睦子
緒方 悦子
原口 紗季
山城 雅子
前原 ゆみ

旭志文芸教室俳句の会 6月詠草

葦の原薙ぎ倒されて半夏生
あじさいの花の彩る畜舎道
雄雉子の砂浴び見たり早り梅雨
緑陰にハイヒール美女立ち話
森の径星座となりて姫蚩

中尾ヨシコ
芹川のり子
水谷 ミネ
芹川 蓉子
藤本けい子

溪流短歌会 8月詠草

もぎたてのとうもろこしを頂いて熱々かじれば夏を先取り
腰痛の痛み押さえてプール行き仲間と共に水中ダンス
青空を四方に拡げてほととぎす峡棲冥利の朝のひとつとき
山道をドライブすれば新緑のトンネル潜りまたもトンネル
習うより忘れる事の早けれど心はずめり民踊の日は

堤 よしみ
田中 遥子
中川 愛子
岩根 博恵
山田 弘子

菊池短歌会 8月詠草

車窓より阿蘇の群嶺の遠見えて夕日の前の淡きむらさき
鬼ゆりの花序きはまれる深梅雨の夕べ訪ひ来よ黄泉よりの使者
初めての睡蓮咲けり青空を映す水面にうす紅落とし
夏本番少し遅れの流行り歌ユエセーユエセーと熊蟬が鳴く
米軍の食用にとて売りしなり濁りし池に蛙を釣れり

中川 愛子
怒留湯健蓉
安藤 則子
川口すみ子
古賀 勝士

【お詫びと訂正】 広報8月号「菊池短歌会 7月詠草」に誤りがあ
りました。正しくは次のお通りです。お詫びして訂正いたします。

〔誤〕 山桃のくれないの酒場上りに注げば水カラと鳴りたり

川口すみ子

〔正〕 山桃のくれないの酒場上りに注げば水カラと鳴りたり

川口すみ子

万句の里俳句会
せせらぎ俳句会
旭志文芸教室俳句の会

井芹 ☎090(1342)2151
藤本 ☎0968(38)4087
中尾 ☎0968(37)2578

七城短歌会 佐々 ☎0968(24)3761
「里」短歌会 / 溪流短歌会
木原 ☎090(5284)2418
菊池短歌会 安藤 ☎0968(25)4285

入会希望など詳しくは、
それぞれの句会や歌会
にお尋ねください。